

令和 8 年度 郡山市障がい者自立支援協議会 自立生活支援部会 活動報告

【テーマ】

“誰もが自分らしく生きられるまち・こおりやま”を目指して

《精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関するワーキンググループ》

「地域共生社会実現のための土壌づくり」「地域力の向上を目指す」

《地域生活支援拠点事業ワーキンググループ》

「関係機関との連携強化と登録対象者の要件の検討」

【部会活動の主な内容・議題】

＊福祉教育への取り組み

令和 8 年度は小学校 3 校から依頼有。

令和 8 年 6 月 24 日（水） 喜久田小学校 4 年生 46 名 身体障がい

6 月 29 日（月） 桃見台小学校 4 年生 38 名 視覚障がい

7 月 6 日（月） 多田野小学校 4 年生 19 名 身体障がい

【精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する WG】

① 各モデル地区での地域活動

〈安積地区〉

5/11、7/6 に打ち合わせを実施。

短期目標：地域の核となる町内会長さんや民生委員さんとの関係性作りを行う

長期目標：障がいの有無や世代等に関わらず、誰もが住みやすく安心して交流できる安積町を作る

昨年度はプロギング単発での実施のため、地域の方の参加が見込めなかった。

参加していただく流れを作るために、今年度は民生・児童委員の心身障がい者福祉部会と一緒に勉強会や事業所見学を行い、取り組みを知っていただいた上でプロギングを開催する方向で決定。『勉強会企画チーム』『プロギング企画チーム』と分かれて活動していく。

※5 月 28 日に、安積地区民協の影山会長、心身障がい者福祉部会佐藤部会長へは挨拶済み。

○勉強会企画チーム

・『障害とは？』『地域の暮らしと相談窓口』に関する講義＋意見交換会

・ 事業所見学 など

9 月頃の開催で、専門部会の部会長と相談を行う予定。

次回：8 月 10 日（月）Mtg

○プロギング企画チーム

・ 障害に限らず高齢分野も含めて支援者間の横のつながりを広げることを目的として、11 月頃開催。今年度 2 回開催で検討。

・ まち歩き＋ごみ拾いだけでなく、事業所見学もかねてスタンプラリーを実施

・ 事業所への挨拶周りを予定 次回：8 月 17 日（月）Mtg

全体の打ち合わせは、9月14日(月)10時～ 今年度は奇数月に打ち合わせを実施。

〈開成地区〉

4月24日(金)今年度の活動について

- ・定例会への参加の継続

定例会への参加を続けることで、開成地区の皆さんの意識が変わってきた。

- ・合同研修会、事例検討会の実施

昨年度車いすユーザーをテーマに研修を行ったが、車いすに触れたことがない地域住民の方が多くいた。車いす体験と地域ケア会議を合同でやれないか。7月か9月頃を予定。

- ・相談窓口として(サポーター事業所)

「困ったら包括」から、「困ったら包括+サポーター事業所」が、根付くような活動をしていく。

6月18日(木)合同研修会について

あいおいニッセイ同和損保の「ウィーログ(車いす街歩きイベント)」という障がい理解のプログラムを活用して車いす体験を行う予定(10月16日(金))。

〈新規地区開拓〉

4月24日(金)・6月18日(木)

新規開拓地区の選定・・・それぞれの地区の状況を調べたうえ、社会資源が少なく、家族が抱えがちな熱海地区に決定。

今後の目標は「家族が抱えないで済むような地域包括ケアシステムを作る」

- ・やれることから熱海地区に参入して活動を開始する。
- ・にも包括としてどのように連携していけるかを検討。
- ・通称「あたま会議」として、地域を知るために熱海に出向いていく。
- ・連携・・・西保健センター・居宅介護支援事業所お花畑・社協SC・あいえるの会(委託相談)・熱海包括支援センター にも包括について説明・協力依頼をしていく。

【地域生活支援拠点WG】

- ・4月1日付でコーディネーターが1名増員され、管理者1名、コーディネーター2名、計3名体制で業務遂行している。
- ・拠点事業PRポスターの作成⇒6月に業者と打ち合わせ済み
本年度内に作成し関係機関、医療機関等に掲示いただく。
- ・地域移行に関する支援⇒市内入所施設(さくら館、豊心園、あさかあすなろ荘)へ
地域移行に関するアンケートを依頼し現況を把握したうえで各事業所を訪ね地域移行担当職員と面談を行う。
目的⇒国の施策に従い、本人そして家族の意向を踏まえたうえでグループホーム等への地域移行を促進していく。

〈グループホーム連絡会〉

- ・権利擁護部会より金銭管理について、利用者にアンケートを実施し、現状や希望のヒアリングをしたいとの要望があった。現在、就労系事業所でも金銭管理することがあるが、より多いのがグループホームであり、支援者側の視点として、必要な支援や実務の困りごとを聴取、共有することとなった。

連絡会として、7月2日に開催。グループホームにおける利用者の金銭管理は、支援者主導の「預かり管理」が主流であり、利用者本人の視点やニーズが十分に反映されていない

という根本的な問題がある。グループワークを通して、様々な事業所から、困りごと、金銭管理の方法や課題などについて共有、情報交換した。3事業所のグループホームにてアンケートを実施する方向で、今回の連絡会の内容から、権利擁護部会にてアンケート内容などを検討していただく。

《短期入所連絡会》

① 令和8年4月17日（金）コア会議 参加者5名

- ・令和7年度の実績 コア会議3回、連絡会3回を行った。
- ・令和8年度の計画 GH連絡会と別日開催する。年度内3回の連絡会を行う。
- ・連絡会の幹事、副幹事を毎年、輪番制にする。

本連絡会の開催目的を参加者一人ひとりが再定義する。⇒障がいを持っている方たちの生活を第一に考えてサービスを提供する。

② 令和8年6月2日（火）第1回短期入所連絡会 参加者18名

- ・4月17日（金）コア会議の内容を報告した。
- ・GW⇒各事業所の現状と課題、第3回（10月から11月の間）の連絡会を（計画相談支援員を交えて）どのように進めるか。
- ・第2回連絡会は南東北さくら館を見学する。

《居宅介護連絡会》

- ・計画相談事業所（7）居宅介護事業所（9）のグループLINE作成。新規依頼などを同時に複数の居宅介護事業所へ共有できるようにした。
- ・研修は開催していない。
- ・8月にコア連絡会開催予定。

《生活介護・自立訓練連絡会》

7月3日（金）13:30～ 郡山市総合福祉センター5階 集会室にて

- ・令和8年度第1回 生活介護・自立訓練連絡会の開催

各事業所の情報共有・各事業所で取り組んでいる創意工夫について意見交換をした各4グループに別れ、事業所で取り組んでいることや悩んでいることなどを話し合い情報共有を行い、今後の支援のヒントとして持ち帰っていただいた。

- ・7月29日に第1回の振り返りと今後についてを話し合う。

《医療的ケア連絡会（成人・子ども領域）》

昨年度末に立ち上がった連絡会で、まだ情報共有の段階となっているが、今年度はこれまでに下記の活動を行った。

4月23日（木）医療的ケア者受入事業所連絡会の開催

（医師の指示書の共通化について、課題等の情報共有・意見交換、他）

6月中旬～ 連絡会の活動に関するアンケートの実施（連絡会参加事業所）

- ・話し合いを通して、医療的ケアを行う際の医師の指示書の必要性和作成に際しての課題を確認することができた。また他事業所と連携をすることの意義について共有することができ、今後の活動につなげることができそうである。

【＊協議内容・課題解決に向けた取り組み】

・福祉教育

今年度は自立生活支援部会（にも包括）のメンバーで対応が可能となった。今後依頼が増えたときには他部会への協力依頼が必要である。

・次回部会開催予定日： 2026. 11月19日（木） 10:30～12:00